

## 業務監査実施結果報告書

事業者名	水島臨海鉄道株式会社	実施期間	令和7年1月22日
検査箇所	水島臨海鉄道株式会社本社		
監査項目	取組状況	所見	所見に対する回答
① 利用者への情報提供	遅延・運休が発生した際には、自社 HP や X (旧 twitter) での周知、駅に掲示を行い、周知している。また、主要駅は英語表記にしており、倉敷市駅など一部の主要駅には、外国人客の対応のため、ポケットークの配備を行っている。	倉敷市駅では JR への乗換えもあるため、JR の動向を見ながら、自社 HP や X (旧 twitter) 等を活用し、適宜、駅の掲示を最新の情報に更新するよう努めている。また、沿線の外国人労働者の利便向上のため、主要駅以外の駅掲示物を英語表記にすることも検討されたい。	ロケーションシステム導入により全駅に設置するサイネージ設備 (2025 年 3 月末に運用開始予定) を通じて、多言語対応の案内や、利用者列車の遅延・運休の最新情報を提供するなど利便性の向上に努めてまいります。
② 計画運休	台風などが発生した際は、JR の動向を見ながら、計画運休を行う。その際は、自社 HP や X での周知、駅に掲示を行い、周知している。また、学校からの運休に関する問い合わせに対応している。	通学や通勤での利用が多いことから、計画運休を行う際は、上述のとおり、自社 HP や X を活用し、迅速に周知している。引き続き、学校からの問い合わせについても、迅速に対応いただき、学生の安全の確保に努められたい。	引き続き、沿線地域からの問合せなど対応してまいります。
③ 他の交通モードとの連携	運休の際、バス会社からの代行手配が困難な状況であるため、タクシー会社と連携し、駅間輸送を行っている。	運休の際、混雑や混乱が起きないように、水島臨海鉄道とタクシー会社で連携し、旅客の滞留を防止することで、通勤・通学等の移動手段を確保している点を評価する。	引き続き、他の交通モードとの連携に努めてまいります。
④ 帰宅困難者対策	倉敷市駅に、会社支給の備蓄品を多少準備している。また、帰宅困難者を想定していないため、訓練を行っていない。	備蓄品の管理を行い、非常時に提供できるようにしている。帰宅困難者対策は、社員間の話題に挙がるが、実行に移せていない。防災訓練等、他の訓練とあわせて実施を検討されたい。	防災訓練等の際に帰宅困難者に対する対応について検討してまいります。

<p>⑤ ダイヤ改正における入念な事前説明</p> <p>⑥ 賠償責任保険への加入</p> <p>⑦ 無人駅における対応</p>	<p>ダイヤ改正前に、倉敷市に事前に説明を行っている。</p> <p>加入している。</p> <p>簡易的な板を置き、車椅子での乗降の補助として活用してもらう。エレベーターが設置されていない無人駅が数駅存在するため、車椅子の利用者には、他駅への乗降を案内する。</p>	<p>関係自治体に事前に説明に行っており、利用者の利便性の確保に配慮している点を評価する。</p> <p>賠償責任保険に加入しており、利用者の保護に配慮している点を評価する。</p> <p>簡易的な板を設置することで、車椅子利用者の利便性が向上している。エレベーターが設置されていない無人駅では、他駅への丁寧な案内を行い、サービス水準を維持することで、利用者の利便性を確保している点を評価する。</p>	<p>引き続き、継続してまいります。</p> <p>引き続き、継続してまいります。</p> <p>引き続き、車椅子利用者の安全性と利便性の向上に努めてまいります。</p>
<p>優良事例</p>			
<p>運休の際、バスの代行手配が困難な中、タクシー会社と連携し、利用者利便の向上を図っている。</p>			